



重複新規コールのサポート

- [マニュアルの変更履歴](#) (1 ページ)
- [機能説明](#) (1 ページ)

マニュアルの変更履歴



(注) リリース 21.24 よりも前に導入された機能については、詳細な改訂履歴は示していません。

| 改訂の詳細 | リリース |
|-------|-----------|
| 初版 | 21.24 より前 |

機能説明



重要 重複新規コールのサポート（重複コールの受け入れ）は、非CUPSアーキテクチャでサポートされている既存の機能です。このリリースでは、この機能はCUPSアーキテクチャで認定されています。

この機能は、UEが他のアクセス方法で再接続を試みる前にエンタープライズPDNから正常に切断できない場合に、新しいコール接続を有効にします。つまり、コントロールプレーンは、割り当てられたIPアドレスをコントロールプレーン内の他のサブスライバが使用するIPアドレスで検証し、P-GWコントロールプレーンがローカルで、またそれぞれのユーザープレーンから古いセッションを解放できるようにします。

この機能の一部として、次のCLIコマンドがCUPSでサポートされます。

```
newcall { duplicate-subscriber-requested-address |  
duplicate-subscriber-requested-v6-address } { accept | reject }
```

制限事項

IPv4v6の静的な割り当てではCUPSアーキテクチャでは機能しないため、同じ制限がこの機能にも適用されます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。